

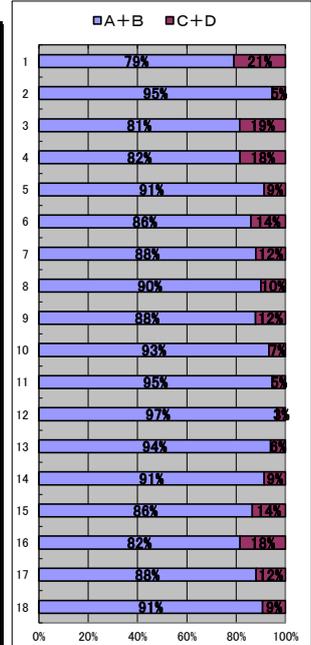
## 令和2年度の学校づくりに向けて —令和元年度後期学校評価結果のおしらせ—

保護者の皆様には「第五中学校の教育に関するアンケート」にご協力いただき、誠にありがとうございました。遅くなりましたが、評価の結果は下記の通りです。概ね良い評価となりましたが、更に改善が必要との結果を真摯に受けとめ、今後の学校づくりを進めてまいります。さらに、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

### 学校生活に関するアンケート集計(生徒)

評価項目	評 価				評 価			割 合		今年度前期		
	A	B	C	D	A+B	C+D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D	
学習自己評価	1 授業開始3分前に着席し、授業の準備をしている。	86	281	87	10	367	97	464	79%	21%	81%	19%
	2 授業中は先生や友達の話真剣に聞いたりノートをとっていいに取ったりしている。	197	242	23	2	439	25	464	95%	5%	91%	9%
	3 宿題や提出ノートは毎日提出している。	181	195	66	20	376	86	462	81%	19%	84%	16%
授業評価	4 先生方は、チャイムとともに教室に来ている。	68	309	79	6	377	85	462	82%	18%	80%	20%
	5 先生方の授業はわかりやすい。	149	274	35	5	423	40	463	91%	9%	91%	9%
	6 授業では、自分の考えなどを書く場面がある。	182	216	55	10	398	65	463	86%	14%	87%	13%
	7 授業では、友達と考えを話し合う場面がある。	165	238	50	5	403	55	458	88%	12%	88%	12%
生活自己評価	8 学校での生活は楽しい。	259	156	36	10	415	46	461	90%	10%	88%	12%
	9 さわやかなあいさつができています。	192	212	46	10	404	56	460	88%	12%	86%	14%
	10 時間を守った生活ができています。	138	295	26	5	433	31	464	93%	7%	90%	10%
	11 友達の気持ちを考えた行動をしている。	208	229	21	4	437	25	462	95%	5%	94%	6%
	12 服装を整え、生活の決まりを守って生活している。	298	148	15	1	446	16	462	97%	3%	96%	4%
	13 無言清掃や給食当番など、自分の分担に責任を持って取り組んでいる。	253	182	23	5	435	28	463	94%	6%	95%	5%
	14 生徒会活動や学校行事に積極的に参加している。	225	197	30	10	422	40	462	91%	9%	91%	9%
	15 部活動(またはそれに代わるもの)に意欲的に取り組んでいる。	283	94	25	34	377	59	436	86%	14%	89%	11%
生活評価	16 悩みなどの相談に乗ってくれる先生がいる。	166	210	58	27	376	85	461	82%	18%	79%	21%
	17 先生方は、生活の3重点を意識して生活している。	150	255	51	4	405	55	460	88%	12%	87%	13%
	18 学校は、命の大切さや社会のルールを教えてくれる。	202	217	35	8	419	43	462	91%	9%	89%	11%
平均					408	52	平均	89%	11%	88%	12%	

全校の在籍生徒数512名

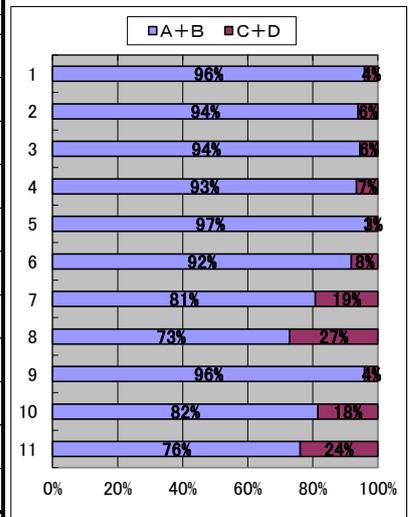


- 前期の割合と比較して、大きく割合が変化していると思われる項目はない。また、A+Bの割合が総じて高く、本校の生徒が良い状況で学校生活に取り組んでいる様子がうかがえる。
- そのような中で、項目1については昨年度後期、今年度前期と比較してわずかながら割合が減少している。職員も意識して生徒の着席から見届ける必要がある。
- 項目16が他の項目と比べてやや数字が低い傾向にあるが、今年度前期と比較してA+Bの割合が増加した。この点については我々教員集団が更に努力を重ね向上させたい。
- 昨年度より、体罰については記述する方式に変更したが、この点に関して生徒の記述は無かった。

### 教育に関するアンケート集計(保護者)

項目	評 価				割 合			今年度前期	
	A	B	C	D	A+B	C+D	合計	A+B	C+D
1 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。(学校だより、学校要覧、講話など)	98	92	8	0	198	96	4	96%	4%
2 学校は、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。	85	101	12	0	198	94	6	93%	7%
3 学校は、生徒の悩みや相談に対応してくれる。	86	101	11	0	198	94	6	92%	8%
4 学校は、家庭への連絡等、丁寧に行っている。	110	76	13	0	199	93	7	92%	8%
5 学校・学年・学級便りなどの学校からの情報は、適切な内容である。	123	70	6	0	199	97	3	97%	3%
6 子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	90	92	14	2	198	92	8	89%	11%
7 子どもは、さわやかな挨拶ができています。(学校や地域で)	62	98	34	4	198	81	19	84%	16%
8 子どもは、時間を守った生活をしている。	42	103	49	5	199	73	27	80%	20%
9 子どもは、中学生にふさわしい服装や態度で生活している。	115	76	6	2	199	96	4	98%	2%
10 子どもは、部活動に意欲的に取り組んでいる。	111	35	9	24	179	82	18	85%	15%
11 子どもは、授業が分かりやすいと感じている。	38	112	40	7	197	76	24	79%	21%
平均					197	89%	11%	90%	10%

全校の家庭数459戸

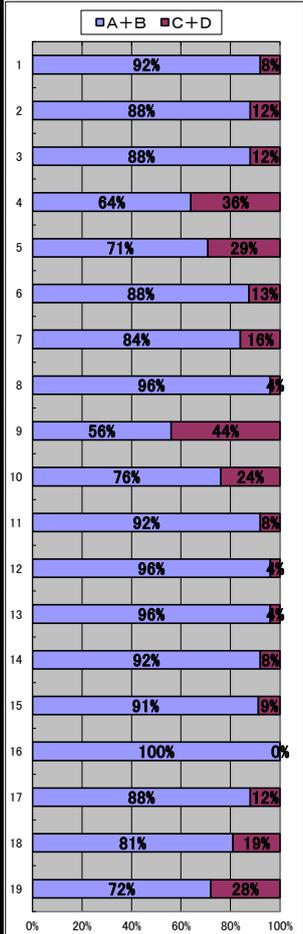


- 昨年度後期と比較して概ねA+Bの割合が向上しており、その割合も高水準であることから、本校の教育活動について概ね保護者の皆様の理解を得られているものと考えられる。
- 項目7～11のA+Bの割合が今年度前期に比べて低下している。特に項目8の低下が大きい。ネット環境の影響等で家庭生活での子どもたちの生活が不規則になっている可能性がある。
- 項目10については3年生で部活動を引退していることが影響していると思われる。
- 体罰については生徒のアンケート同様本年度から記述する方式に変更したが、この点に関しては保護者の記述は無かった。

## 教育に関するアンケート集計（教職員）

回答職員数25名

領域	具体的方策	評価					評価		割合		今年度前期	
		A	B	C	D	合計	A+B	C+D	A+B	C+D	A+B	C+D
教 育 活 動	1 1時間ごとの授業や単元でのつづける力の明確化。	8	15	2	0	25	23	2	92%	8%	91%	9%
	2 学び合う授業場面の設定と個に応じた学習指導の工夫。	4	18	3	0	25	22	3	88%	12%	82%	18%
	3 生徒ひとり一人の学びを把握し、個を支援する授業	6	16	3	0	25	22	3	88%	12%	82%	18%
	4 自己評価や相互評価を取り入れた評価（見返し場面の工夫）	7	9	9	0	25	16	9	64%	36%	64%	36%
	5 自分の姿を追求するための体験を通した授業	2	15	7	0	24	17	7	71%	29%	68%	32%
	6 五人中権宣言に基づいた人権同和教育、道徳教育の推進	10	4	2	0	16	14	2	88%	13%	95%	5%
	7 体験を取り入れた総合的な学習の時間の内容の充実	3	18	4	0	25	21	4	84%	16%	86%	14%
	8 意見を言い合える場の設定	4	20	1	0	25	24	1	96%	4%	86%	14%
	9 朝の読書、読書時間中の一斉読書の推進	5	9	6	5	25	14	11	56%	44%	62%	38%
	10 生活の3重点、部活動の重点の深化	7	12	4	2	25	19	6	76%	24%	76%	24%
	11 規範意識の醸成と生命を尊重する指導の充実	11	12	2	0	25	23	2	92%	8%	86%	14%
	12 生徒の訴えや申し出に対する受け止めと即時対応。	9	15	0	1	25	24	1	96%	4%	86%	14%
	13 カウンセリングマインドを取り入れた生徒指導（よ〜く観る、よ〜く聴く）	12	12	1	0	25	24	1	96%	4%	95%	5%
学 校 運 営	14 学校だより、学年だより等の定期的な発行とHPの更新	10	13	2	0	25	23	2	92%	8%	82%	18%
	15 学校公開の実施と地域講師等の有効活用	13	8	2	0	23	21	2	91%	9%	95%	5%
	16 学級、学年PTAの充実と地域の方々との懇談	11	14	0	0	25	25	0	100%	0%	95%	5%
	17 個に応じた指導法の工夫と指導計画の見直し	13	9	3	0	25	22	3	88%	12%	95%	5%
	18 見合う授業参観やミニ研究会による指導方法や技術の研究	3	14	4	0	21	17	4	81%	19%	59%	41%
	19 公開授業や外部研修会への積極的な参加	8	10	6	1	25	18	7	72%	28%	73%	27%
		平均					20	4	90%	10%	85%	15%



○学習指導においては、評価や体験的学習に課題を感じている職員の割合が前期に引き続き高い。新教育課程の実施に向け努力していきたい部分かと思われる。  
 ○本校では5分間の朝読書を実施しているが、毎朝の学年毎の職員の打ち合わせの内容が多く、読書時間までずれ込んでしまうことも多い。この点は前期でも課題であったが改善されていない。5分間読書の効果を上げるためには、読書開始時刻正確に読書が始まっている必要がある。読書時間だけでなくその前段階まで含めて大事に考えていきたい。  
 ○それぞれの職員が学習指導以外の様々な業務を抱えており、職員相互の授業参観や研究の時間がなかなかとれない。個々の職員が学習指導の力量を高められるよう、授業研究の時間や研修を行うことができる時間を生み出す努力をする必要がある。

＜令和元年度後期の学校評価」の集計ができましたので、つぎの6点に絞ってご報告いたします。＞

☆詳細は、上記の集計表をご覧ください

- 1 生徒の学習自己評価→学習に向かう姿勢作りと基本的な学習習慣の定着をめざす工夫を続けていきます。
  - 2 生徒の生活自己評価→楽しい学校生活を継続していくために、今後も生活の三重点を意識した生活作りに努めていきます。
  - 3 生徒の授業評価→授業の始まりを大切に、じっくり自分の考えをまとめたり、互いに話し合ったりする場面を増やす工夫をします。
  - 4 保護者の学校評価→概ね本校の取り組みにご理解をいただいていると思います。さらに生徒や保護者、地域に開かれて学校作りに努めます。
  - 5 保護者の生徒の生活評価→分かり易い授業であるとともに、学びが結果に結びつく授業をめざし、授業力の向上に努めていきます。
  - 6 学校自己評価→教師自身による評価です。生徒一人一人の個性が輝き、生徒が生き生きと学べる学校を今後も目指していきたいと思えます。
- なお、この集計結果は、学校評議員やPTA三役にもお示しし、更に「学校関係者評価」としてご意見や提言をいただいたものをまとめ、設置者である上田市教育委員会にも報告し、学校ホームページでも公開します。

☆アンケートへのご記入をいただき、ありがとうございました。また、自由記述欄にもたくさんのご意見をいただきました。今後の学校運営の参考にさせていただきます。